

選ばれた4成分で速く効く、長く効く!

水稲用一発処理除草剤

新登場

バッチリ

LY[®]

1キロ粒剤
フロアブル
ジャンボ

ノビエはもちろん、SU抵抗性雑草も、難防除雑草も。 選ばれた4成分でバッチリ抑えます!

本剤は、ノビエをはじめ広葉、カヤツリグサ科などの幅広い雑草、さらにSU抵抗性雑草にも優れた効果を示す「ピラクロニル」、長期にわたってノビエの発生を抑制する「オキサジクロメホン」、難防除の多年生雑草に幅広く、低含量で高い効果を示す「イマズスルフロン」、SU抵抗性・感受性を問わずホタルイに高い活性を示す「プロモブチド」の4成分を配合した、水稲用一発処理除草剤です。ノビエをはじめ、SU抵抗性から多年生の難防除雑草まで、幅広い種類の雑草を長くしっかりと抑えられるため、田植同時処理でも安定した効果を発揮。用途に応じて選べる1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボの3剤型ラインナップで、水田除草の多彩なニーズにお応えします。



1キロ粒剤

ジャンボ

フロアブル

バッチリLX[®]

1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ

バッチリLXは、こんな方にオススメ!



**SU抵抗性雑草、
難防除雑草も防除したい!**



炎天下に行う
除草剤散布は
負担が大きい...

**一発処理で
しっかり長く効かせたい!**

**田植同時処理で
省力除草がしたい!**



**水稻に安全な
除草剤を使いたい!**



さまざまなニーズに、**バッチリ** お応えします!

作用機作の異なる4つの成分が、優れた除草効果を発揮します!

4成分が速く効く!
長く効く!



■ バッチリLXの特長



4成分が、速効性と長期残効性を実現!



ノビエに対し、優れた効果が長期間持続!

速効性のピラクロニルと、長期残効のオキサジクロメホンの2成分で強力除草します。



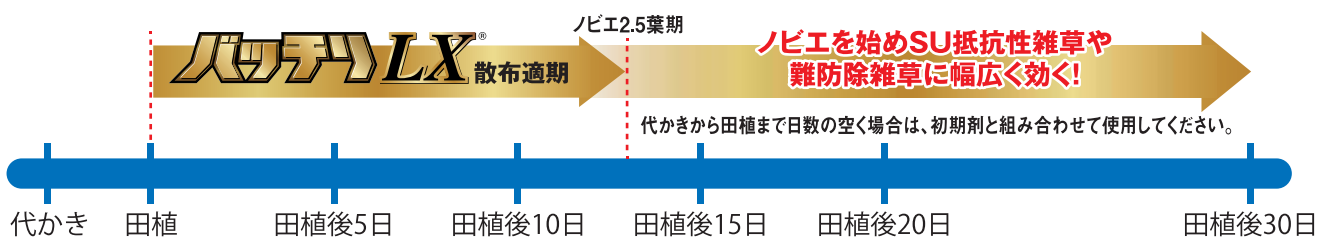
SU抵抗性雑草や多年生雑草など、難防除雑草をしっかり抑制!



田植同時処理でも安定した高い効果!

■ 上手な使い方

多年生雑草は、発生期間が長期間に及ぶので、多発圃場等では有効な後処理剤と組合せて使用してください。



※散布適期は地域により違いがあります。図の散布適期は平均的な日数となっています。

バッチリLX[®]

1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ

■殺草スペクトラム

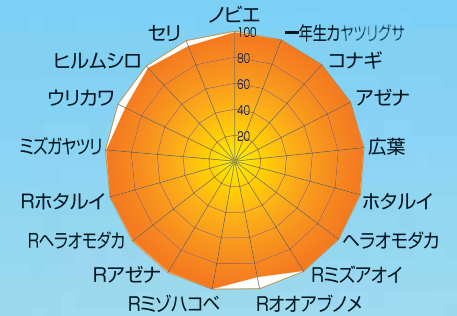
除草効果: ● 極大 ○ 大 △ 中 × 無 - データなし

	ノビエ		一年生 カヤツリグサ科	コナギ	その他広葉	ヘラオモダカ	ホタルイ	マツバイ	ウリカワ	ミスガヤツリ	セリ	ヒルムシロ	藻類
	残効	生育期											
ピラクロニル (20gai/10a)	◎	●	●	●	●	●	◎	●	◎	○	×	◎	◎
オキサジクロメホン (3~4gai/10a)	●	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イマズスルフロン (9gai/10a)	-	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎
プロモブチド (90gai/10a)	-	◎	●	●	○	○	●	●	○	◎	-	-	-
バッチリLX[®]	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※生育期:ノビエ2.0~2.5葉期処理

■委託試験結果 [除草効果]

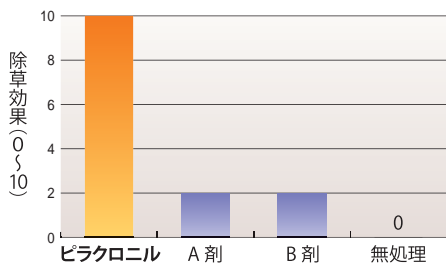
2009年~2013年 日植調委託試験結果
(1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ) 試験数:308事例



■ピラクロニルはノビエ、コナギなど広葉雑草に加え、クサネム、藻類に対しても高い効果を示します。

クサネムに対し優れた効果を発揮!

処理後50日 播種から30日後

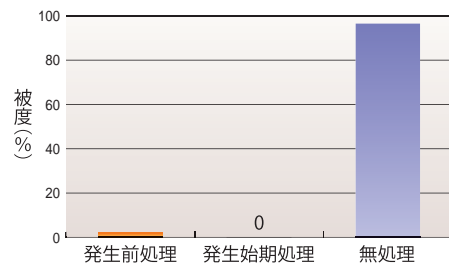


協友アグリ研研究所 社内試験 (2013年)
試験規模:1/5,000aポット試験
薬量:ピラクロニル...20gai/10a、
A剤...6.7gai/10a、B剤...20gai/10a

クサネム種子播種日:薬剤処理50日後
(播種後10日間落水)
調査:クサネム種子播種後30日に観察評価
除草効果:0(効果なし)~10(完全枯死)

藻類に対し優れた効果を発揮!

移植後43日



大阪府環境農林水産総合研究所 (2011年)
対象草種:藻類(アミドリロ、アオミドリ混発)
試験規模:1㎡
薬量:ピラクロニル...18gai/10a

薬剤処理:発生前6月24日(田植後1日)、
発生始期6月27日
(田植後4日、被度5~10%)
調査:移植後21日、43日、50日 各区の藻類の
発生状況(被度)を調査

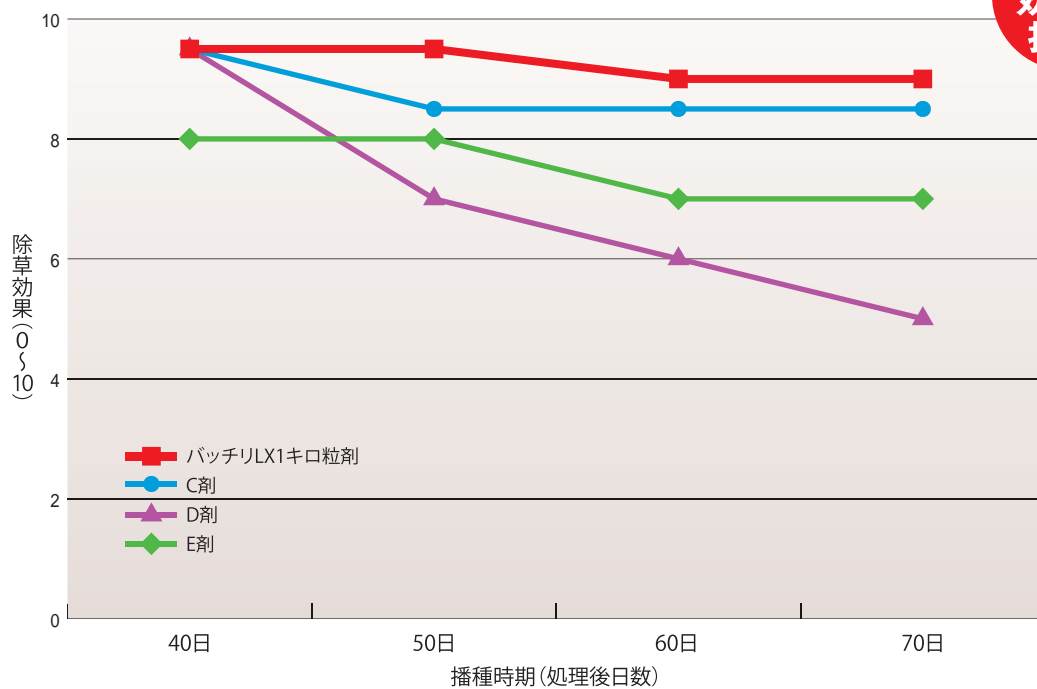


ノビエに対し、優れた効果が長期間持続!

ノビエの発生を長期間抑制

長期間
効果が
持続!

漏水条件



漏水条件においても、ノビエに長い残効性を示した。

薬剤処理 100 日後



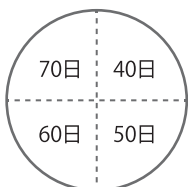
バッチリ LX



C 剤



D 剤



播種 (処理後日数)



E 剤



無処理

協友アグリ(株)研究所 社内試験 (2014年)
 試験規模: 1/5,000aポット試験
 薬剤: 1kg/10a
 供試土壌: 畑壌土
 漏水条件: 処理当日から2cm/6~8時間/日漏水を3日間実施

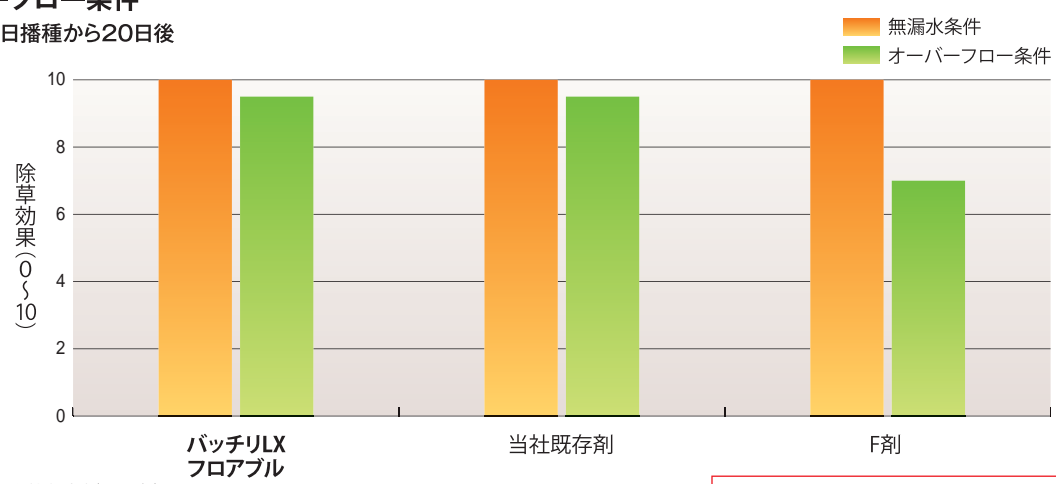
播種: 薬剤処理後40日から10日毎に播種
 調査: 播種30日後に達観調査
 除草効果: 0 (効果なし) ~ 10 (完全枯死)



安定した除草効果を発揮

オーバーフロー条件

処理後60日播種から20日後



協友アグリ機研究所 社内試験 (2009年)
 試験規模: 1/5,000aポット試験
 薬剤: 500 ml/10a
 オーバーフロー条件: 処理6時間後に100mm/日の降雨を想定
 (処理6時間後に湛水深5cmのポットから3cm分水を抜き取り、再度入水)

播種: 薬剤処理後60日に播種
 調査: 播種20日後観察調査
 除草効果: 0 (効果なし) ~ 10 (完全枯死)

ピラクロニルとオキサジクロメホン2成分で、当社既存剤 (オキサジクロメホン6gai/10a含有) と同等の安定した効果を示した。

ピラクロニルの速効性

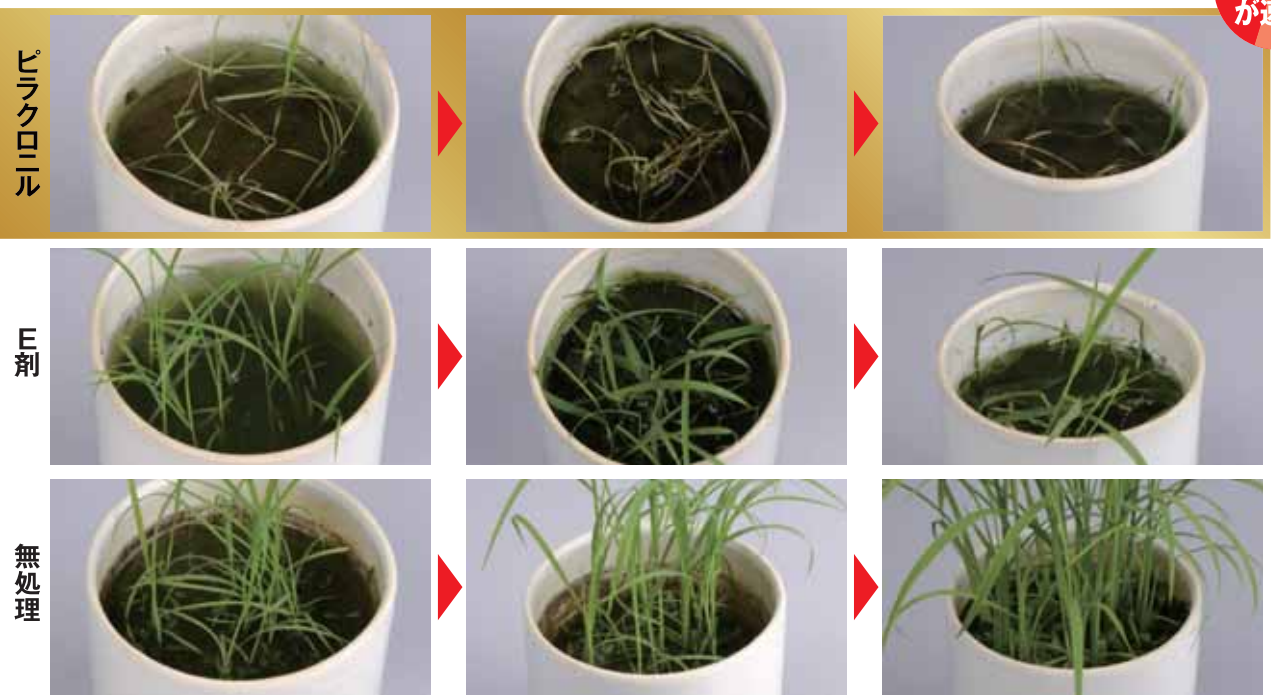
ノビエ 2.0 葉期にピラクロニルを処理

処理 3 日後

処理 7 日後

処理 14 日後

**効果発現
が速い!**

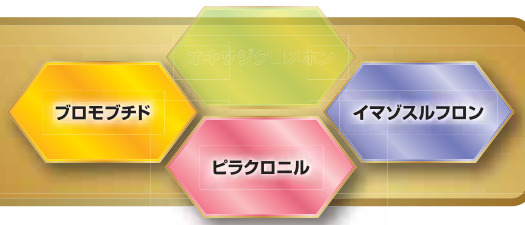


協友アグリ機研究所 社内試験 (2007年)
 薬剤: ピラクロニル...20gai/10a
 薬剤処理時期: ノビエ2.0葉期

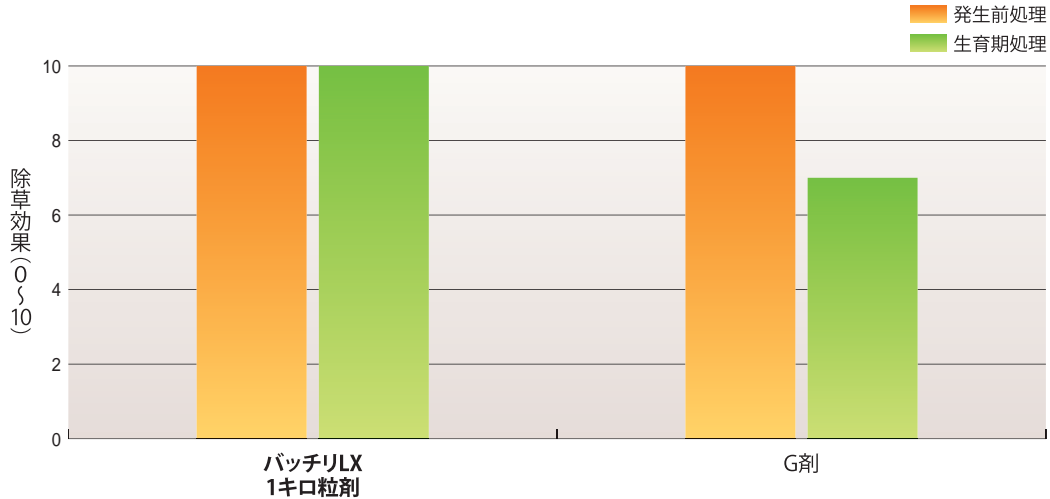
ピラクロニル処理後3日で枯れ症状が現れ、14日後に枯殺した。



難防除の代表・ホタルイも、 しっかり枯らします!



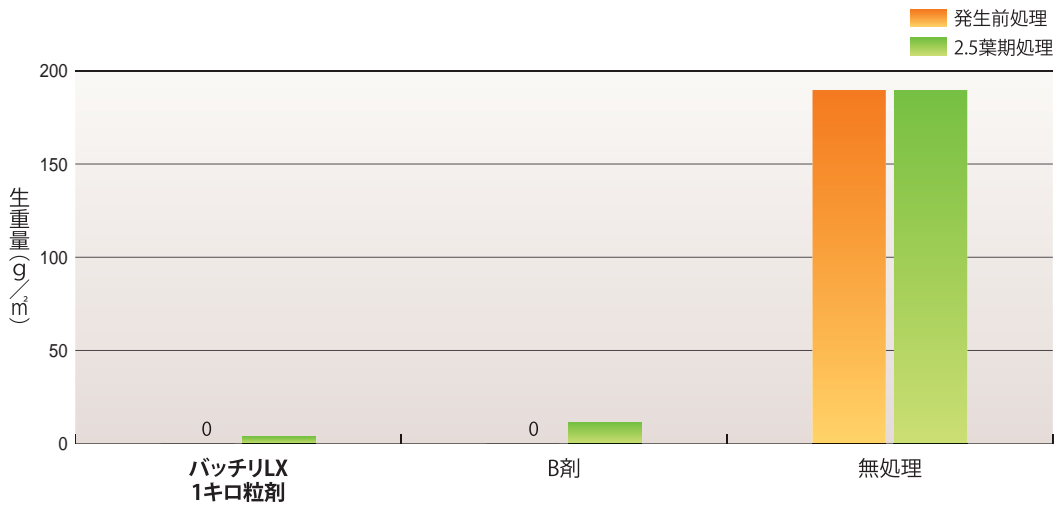
ホタルイに対する高い効果 - 1



協友アグリ(株)研究所 社内試験(2013年)
 試験規模: 1m² 薬剤処理: 発生前処理(移植当日処理)、生育期処理(ホタルイ2.5~3.0L処理)
 対象雑草: ホタルイ 調査: 発生前処理: 処理60日後、生育期処理: 処理40日後
 薬剤: 1kg/10a 評価基準: 0(効果なし)~10(完全枯死)

**ホタルイ発生前処理、生育期処理とも
高い効果を示した。**

ホタルイに対する高い効果 - 2



バッチリLX



B剤



無処理

※写真提供(左)中央J/A全農肥料農薬部
農薬原体・開発課

植調古川試験地(2013年)
 試験規模: 1.2m² 薬剤処理: 発生前処理(移植当日処理)、ホタルイ2.5葉期処理(ノビエ2.5葉期処理)
 対象雑草: ホタルイ(SU抵抗性個体が混在) 調査: 移植後57日(2.5L処理後41日)に抜き取り調査し、生体重を測定
 薬剤: 1kg/10a

**SU抵抗性ホタルイが混在する条件下でも、
高い除草効果を示した。**

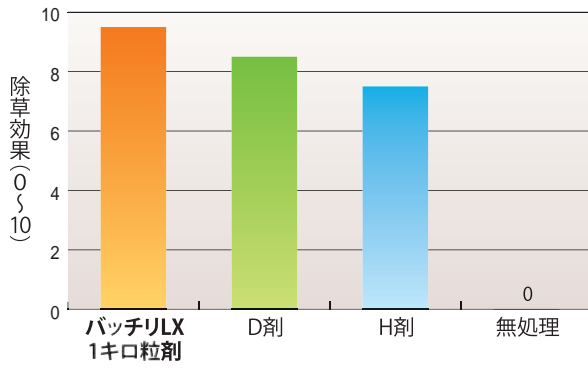


SU抵抗性の広葉雑草にも、優れた効果が長期間持続!



SU 抵抗性コナギもしっかり枯殺

薬剤処理
40日後



バッチリLX



D剤



H剤

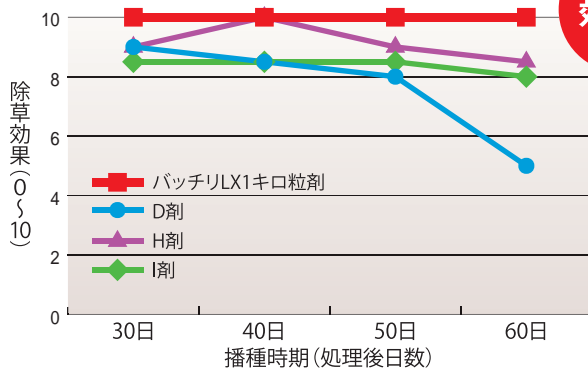


無処理

協友アグリ(株)研究所 社内試験 (2014年)
 試験規模: 1/5,000aポット試験 薬剤: 半量処理 500g/10a 調査: 処理後40日に達観調査
 供試草種: SU抵抗性コナギ 薬剤処理時期: SU抵抗性コナギ2葉期 除草効果: 0 (効果なし) ~ 10 (完全枯死)

SU 抵抗性コナギを長く抑制

長期間
効果が
持続!



バッチリLX



D剤



H剤



I剤

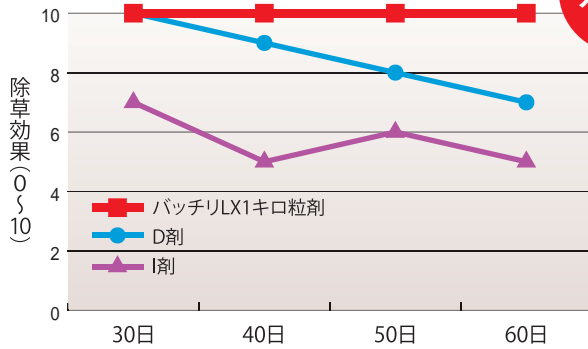


無処理

協友アグリ(株)研究所 社内試験 (2014年)
 試験規模: 1/5,000aポット試験 薬剤: 半量処理 500g/10a 調査: 播種後30日に達観調査
 供試草種: SU抵抗性コナギ 播種: 薬剤処理後30日から10日毎に播種 除草効果: 0 (効果なし) ~ 10 (完全枯死)

SU 抵抗性アゼナを長く抑制

長期間
効果が
持続!



バッチリLX



D剤



I剤



無処理

協友アグリ(株)研究所 社内試験 (2014年)
 試験規模: 1/5,000aポット試験 薬剤: 1kg/10a 調査: 播種後30日に達観調査
 供試草種: SU抵抗性アゼナ 播種: 薬剤処理後60日播種 除草効果: 0 (効果なし) ~ 10 (完全枯死)



田植同時処理
OK!

田植えと同時に、除草剤散布も完了!
省力的に、長く雑草の発生を抑えられます。



バッチリLX処理区
(処理後49日)

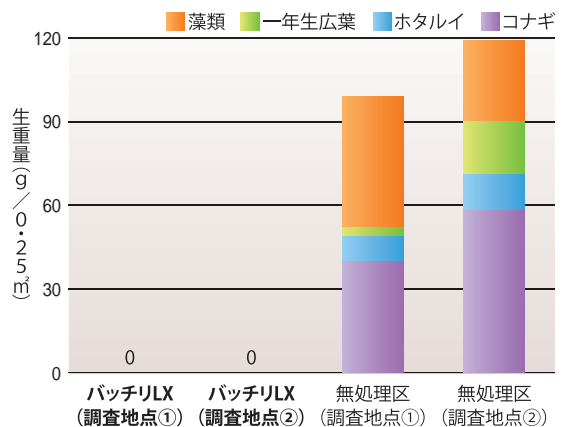
無処理区 (処理後49日)

協友アグリ(株) 社内試験(2014年)
 試験場所:茨城県結城郡八千代町
 試験規模:35a
 耕種概要:代掻き5月5日、田植5月8日
 薬剤処理:5月8日(田植同時散布機で施用)
 薬剤:1kg/10a
 調査:薬剤処理後49日に抜き取り調査

田植同時処理での注意事項

- **田面を均平にするために、代かきはていねいに行ってください。**
田面に高低差があると適切な植付深度が確保できず、浅植え部分の稲の葉害リスクが高まります。
- **除草剤散布(田植同時処理)の前に、漏水がないか確認をしてください。**
- **稲ワラ等の残渣は取り除いて、田植同時処理を行ってください。**
稲ワラの上から植付けを行うと、稲の根が土壌に十分に埋まらずに直接成分を吸収してしまうため、葉害リスクが高まります。
- **浅植え、浮き苗が生じないように、田植作業はていねいに行ってください。**
- **田植同時処理後は速やかに入水してください。**
オーバーフローが起こらないよう、水口の止め忘れ、水尻の閉め忘れがないようにしてください。
- **田植(入水後)の水管理は以下の点に注意してください。**
 - ・水口、水尻はしっかりと止め、落水や掛け流しはしないでください。
 - ・水持ちが良好な水田で使用する事が理想ですが、もし散布後3日以内に水がなくなった場合は、静かにさし水をしてください。
 - ・水が減ったからといって極端に頻繁に足し水をする必要はありません。田面がひび割れる前に、静かに入水するようにしてください。

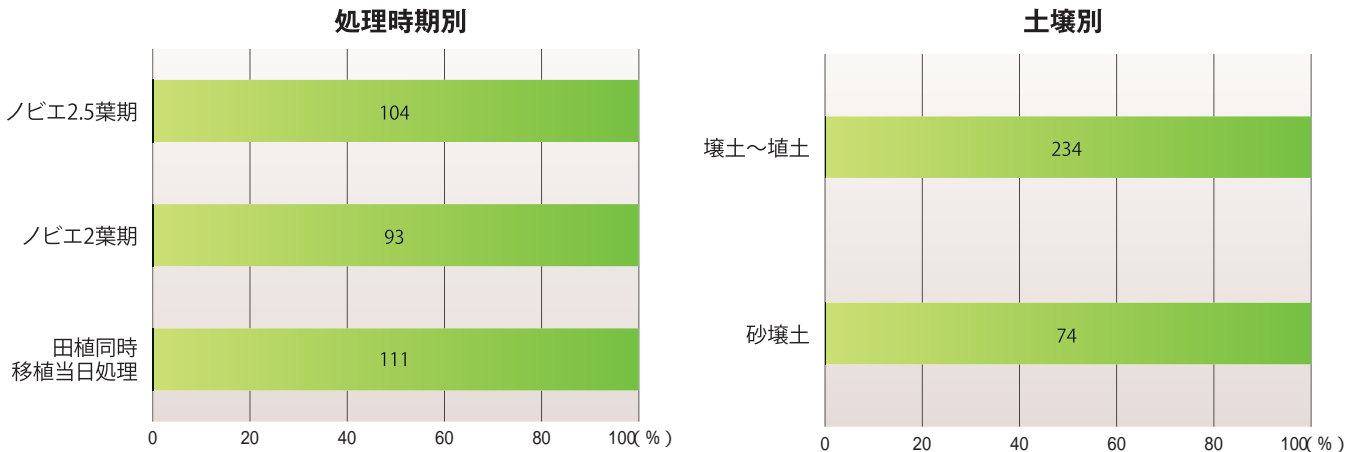
残草調査結果



水稻に対して、安全性が高い！



さまざまな使用時期・土壌条件での安全性

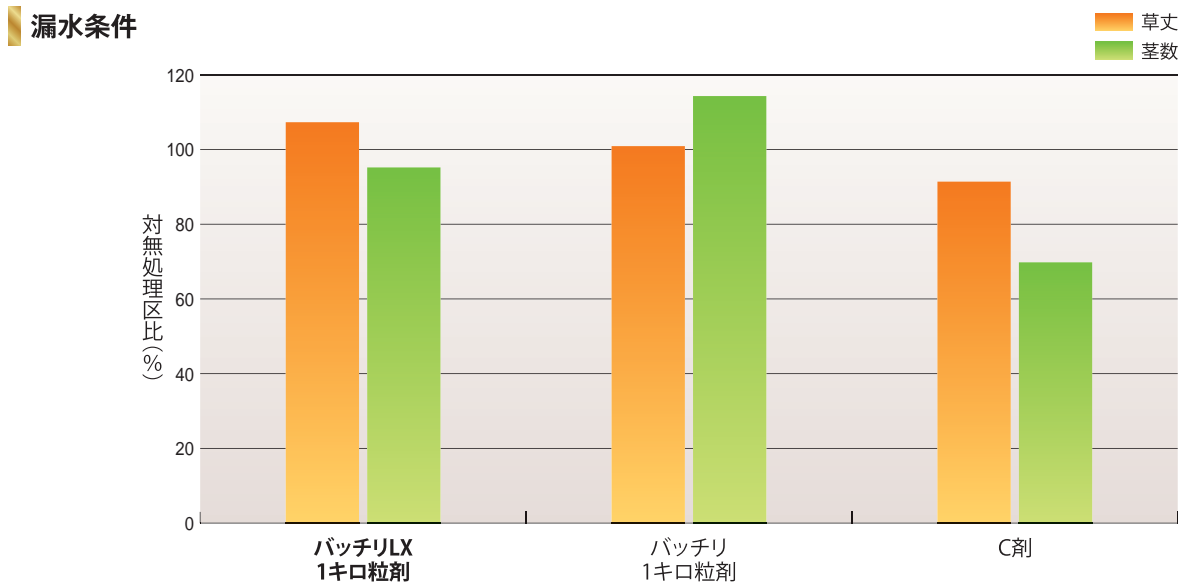


田植同時処理、移植当日処理、砂壤土や黒ボク土でも実用上問題となる薬害は認められない。

グラフ内の数字：試験例数
■ 無～微
■ 小～大

2009年～2013年日植調委託試験まとめ
 (1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 試験数308事例)

田植同時処理での水稻への安全性



漏水条件においても、水稻に高い安全性を示した。

協友アグリ研研究所 社内試験 (2014年)
 試験規模: 1/5,000aポット試験
 薬剤: 1kg/10a
 移植深度: 2cm 漏水条件 (処理当日より2cm/日を3日間実施)
 調査: 処理後28日に草丈、茎数を調査

バッチリLX[®]

1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ

有効成分	1キロ粒剤	フロアブル	ジャンボ
	1kg	500mℓ	400g
ピラクロニル	2.0%	3.7%	5.0%
オキサジクロメホン	0.4%	0.56%	0.75%
イマズスルフロン	0.9%	1.7%	2.25%
プロモブチド	9.0%	16.3%	22.5%
登録番号	第23521号	第23519号	第23520号
試験名	KYH-0901 1キロ粒剤	KYH-0901 フロアブル	KYH-0901 ジャンボ
人畜毒性	普通物*	普通物*	普通物*

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

適用雑草の範囲及び使用方法

バッチリLX 1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	使用方法	総使用回数	適用地帯	雑草名	散布適期
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離 (関東 東山・東海)	移植時	壤土 ～ 植土	1kg /10a	田植同時 散布機で 施用	本剤 1回 イマズスルフロン剤 2回 オキサジクロメホン剤 2回 ピラクロニル剤 2回 プロモブチド剤 2回	北海道、関東・東山・東海の 普通期及び早期栽培地帯	ノビエ	2.5葉期まで ※北陸の砂壤土は 2葉期まで
			砂壤土 ～ 植土				東北、北陸	ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ	2葉期まで
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	壤土 ～ 植土				北海道、北陸、関東・東山・東海 の普通期及び早期栽培地帯	ウリカワ	発生時まで
			砂壤土 ～ 植土				東北	ヒルムシロ	発生期まで
移植直後～ ノビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土	北陸	セリ	再生前～再生始期					
								アオミドロ・ 藻類による 表層はく離	発生前

バッチリLX フロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	使用方法	総使用回数	適用地帯	雑草名	散布適期
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヒルムシロ セリ(北陸を除く)	移植時	壤土 ～ 植土	500mℓ /10a	田植同時 散布機で 施用	本剤 1回 イマズスルフロン剤 2回 オキサジクロメホン剤 2回 ピラクロニル剤 2回 プロモブチド剤 2回	全域(東北、関東・東山・ 東海を除く)の普通期 及び早期栽培地帯	ノビエ	2.5葉期まで ※九州の早期栽培 地帯は2葉期まで
			砂壤土 ～ 植土				東北、関東・東山・東海 の普通期及び早期栽培地帯	ホタルイ ヘラオモダカ	2葉期まで
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	壤土 ～ 植土				全域(東北、関東・東山・東海 を除く)の普通期栽培地帯 及び近畿・中国・四国 の早期栽培地帯	ミスガヤツリ	2葉期まで ※九州は3葉期まで
			砂壤土 ～ 植土				九州の早期栽培地帯	ウリカワ	発生時まで ※近畿・中国・四国、 九州は2葉期まで
移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土 ～ 植土	東北、関東・東山・東海の 普通期及び早期栽培地帯	ヒルムシロ	発生期まで					
								セリ	再生前 ～再生始期

バッチリLX ジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	使用方法	総使用回数	適用地帯	雑草名	散布適期				
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ (北海道、関東 東山・東海) ホタルイ ヘラオモダカ(北海道) ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヒルムシロ セリ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	壤土 ～ 植土	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入れる	本剤 1回 イマズスルフロン剤 2回 オキサジクロメホン剤 2回 ピラクロニル剤 2回 プロモブチド剤 2回	北海道、東北、関東・ 東山・東海の普通期 及び 早期栽培地帯	ノビエ	2.5葉期まで				
			砂壤土 ～ 植土				北陸	ホタルイ ヘラオモダカ	2葉期まで				
												ウリカワ	2葉期まで ※北海道、東北は 発生時まで
												ミスガヤツリ	2葉期まで ※北陸は発生時まで
								ヒルムシロ	発生期まで				
								セリ	再生前～再生始期				

使用上の注意事項

3割剤に共通する注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期まで(粒剤:北陸の砂壤土は2葉期まで、フロアブル:九州の早期栽培地帯は2葉期まで)に時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日を超える水田)では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはいていに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいぬいに行ってください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 移植水稻を栽培した後に、いくさを栽培する水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密封し、直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

1キロ粒剤の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

フロアブルの注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 散布に当たっては水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

ジャンボ剤の注意事項

- 散布に当たっては水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破棄することがないようご注意ください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用を避けてください。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、ぬれた手で触らないでください。

本資料の記載内容は2015年4月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところには置かないでください。★空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。